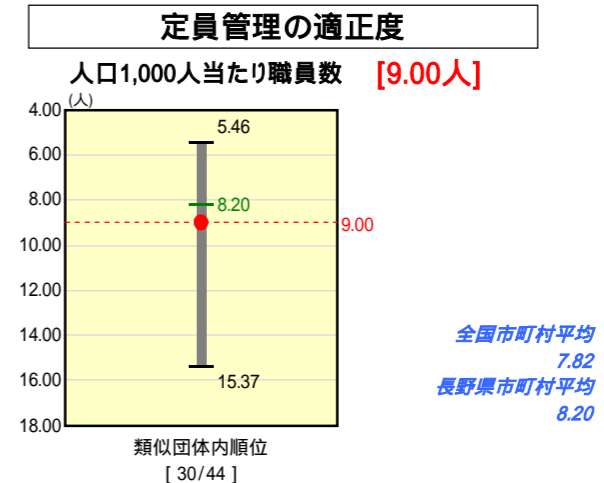
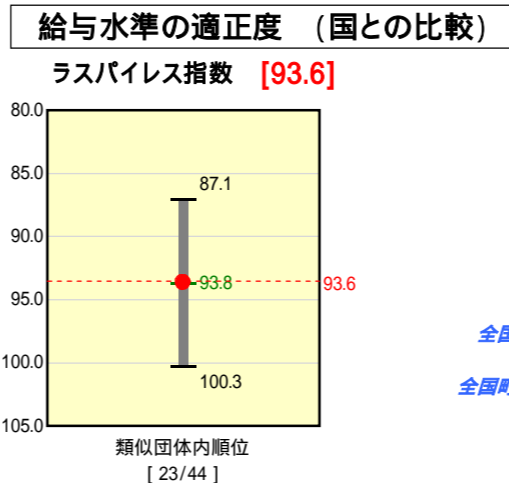
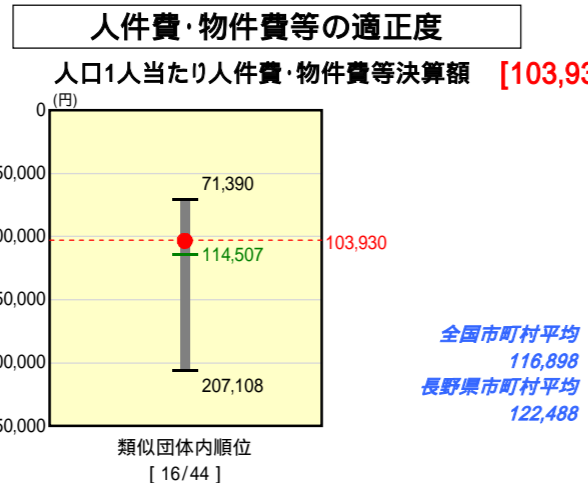
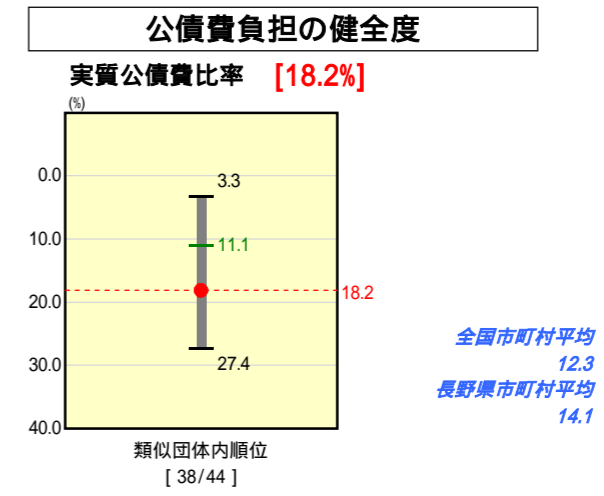
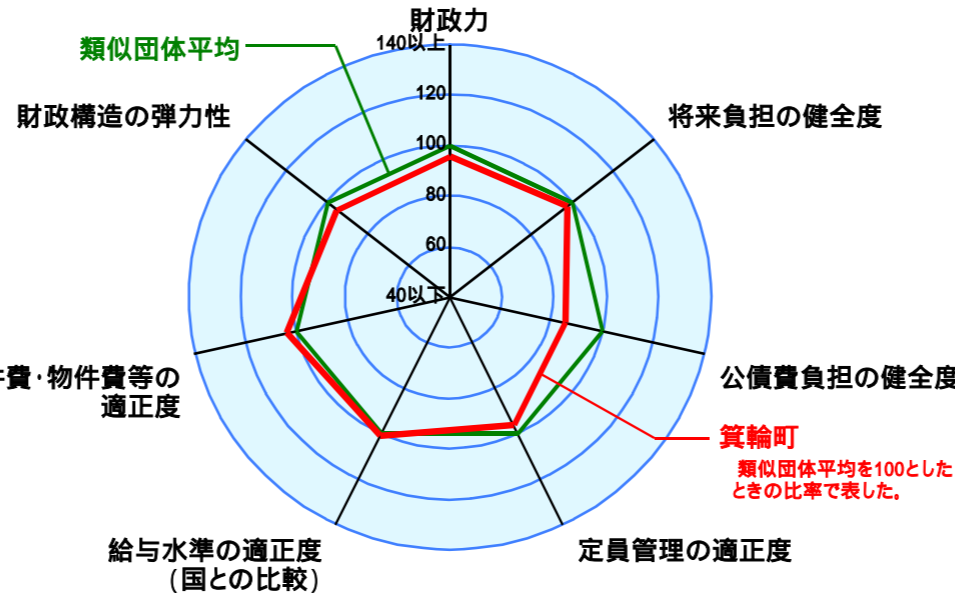
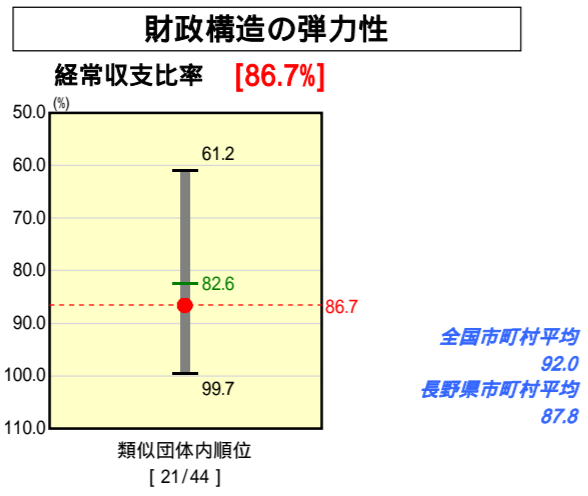
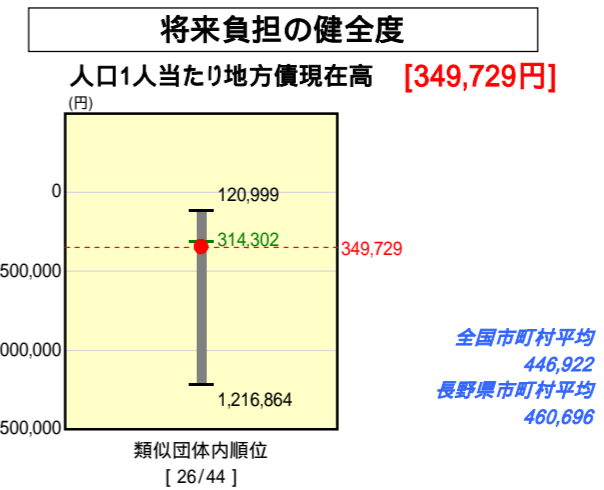
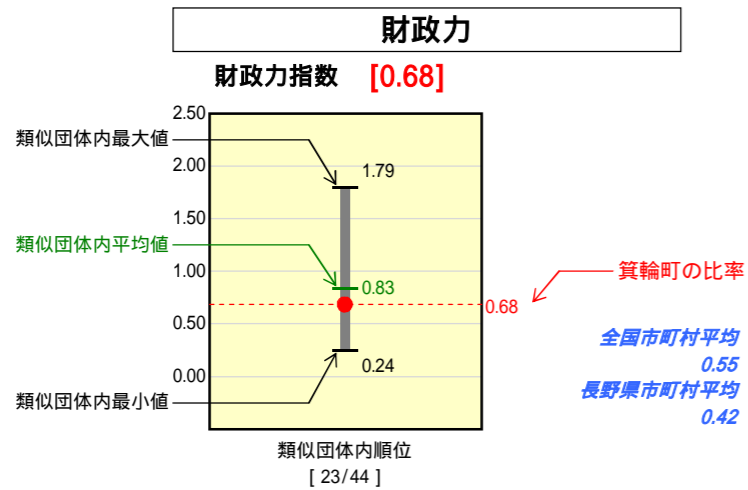


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 長野県 箕輪町

人口	24,889	人(H20.3.31現在)
面積	86.12	km <sup>2</sup>
歳入総額	9,331,509	千円
歳出総額	9,015,152	千円
実質収支	315,201	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄	類似団体数値を若干下回るが、全国平均を0.1ポイントほど上回っている。今後は改善される見込であるが、更に税の徴収強化等に努める。	人口1人当たり地方債現在高	類似団体の平均より高めであるが、平成16年度をピークに減少傾向にある。引き続き地方債の発行の抑制、減債基金の活用などにより財政の健全化に努める。
財政力指数		人口1人当たり地方債現在高	
経常収支比率	類似団体平均を4.1%上回っている。福祉関係経費(扶助費)の増加や公営企業債に充てた繰出金の影響が大きい。人件費は退職者の不補充等により前年に比べ減となっている。今後も引き続き職員の定数削減や起債の借入の抑制に努める。	実質公債費比率	大型建設事業に伴う起債の償還額増加により類似団体平均を上回る18.2%であるが、前年度に比べ0.9%改善された。次年度以降も改善されていく見込みとなっているが、引き続き公債費負担適正化計画に基づき、地方債発行の抑制、減債基金の活用などにより財政健全化に努める。
人口1人当たり人件費・物件費等決算額	類似団体平均を下回っているが、決算額は昨年と比べ増となっている。今後も職員の退職後新規採用者の抑制等により人件費の削減や事務事業の見直しを行い経費の節減に努める。	人口1,000人当たり職員数	類似団体に比較し立上保育園数が多いため、類似団体平均を上回る9.0人となっている。職員の定員適正化計画に基づき、今後も退職後新規採用者の抑制を図り適切な定員管理に努める。
ラスパイレス指数	類似団体とほぼ同じ水準にある。今後も職員の退職後新規採用者の抑制や人事評価制度の活用により給与水準の適正化に努める。		